平成 28 年度
北海道小学校長会教育研究小樽大会

北海道教育委員会　祝辞

北海道教育庁後志教育局長の武田でございます。

まずはじめに，この度の台風 10 号による豪雨災害に際し，被災されました多くの皆様方に心からお見舞いを申し上げますとともに，復旧にあたっておられる関係者の皆様方に，深く感謝を申し上げます。

それでは，
第５９回北海道小学校長会教育研究大会小樽大会の開会に当たり，本来であれば，柴田教育長が御挨拶申し上げるところですが，所用のため，かわって私から皆様に，教育長のメッセージを伝えさせていただきます。

北海道小学校長会におかれましては，長年にわたり，小学校教育の諸課題にかかわる研究実践を組織的，計画的に積み重ねられ，校長としての職能の向上はもとより，本道教育の充実・発展のために御尽力いただいておりますことに，心から感謝を申し上げます。

本日は，後ほど，本道教育の充実に向けた学校経営の推進について，お話する時間をいただいておりますので，この場では，これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上にかかわりお話をさせていただきます。

情報通信技術の急速な発展，社会・経済のグローバル化や少子高齢化の進展など，社会が大きく変化している中，我が国が将来に向けて更に発展し，繁栄を維持していくためには，様々な分野で活躍できる質の高い人材を育成することが求められております。

こうした人材育成の中核を担う学校教育においては，教育の直接の担い手である教員に，これまで不易とされてきた使命感や責任感，教育的愛情，教科等に関する専門的知識などの資質能力に加え，時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を生涯にわたって高めていくことのできる力を身に付けることが重要です。

また，チーム学校の考えの下，多様な専門性をもつ人材と効果的に連携分担し，組織的，協働的に諸課題の解決に取り組む力の醸成なども必要です。

こうしたことから，道教委では，現在，教員の養成，採用，研修を通じた一体的な改革を進めるとともに，初任段階から管理職までの職層に応じた資質能力を明確にし，その力をはぐくむ研修事業の抜本的な改革に取り組んでいるところです。

校長先生方におかれましては，教員一人一人が自らの資質能力の向上に向けた目標や道筋がもてるよう支援するとともに，メンターチームを組織したり，若手教員を中心とした研修を実施したりするなどの，研修体制を整備していただくようお願いします。

とりわけ，「主体的・対話的で深い学び」いわゆるアクティブラーニングの視点からの授業改善や，考え議論する道徳の授業の推進，英語教育改革など，新たな課題の解決に向けた取組を推進するこの時期を，教員の資質能力向上を図る絶好のチャンスと捉え，学び続ける教員の育成に向けてリーダーシップを発揮していただきますよう御期待申し上げます。

今後とも，北海道の全ての子どもたちが，個性を伸ばし，可能性を開花させ，未来に向かってたくましく成長することができるよう，校長会の皆様とこれまで以上に緊密に連携を図りながら，充実した教育環境づくりを進めていきたいと考えておりますので，御理解，御協力をお願いいたします。

結びに，本日から２日間，積極的な実践交流や意見交換等によりまして，学校経営の充実に資する大きな成果が得られますことを御期待申し上げますとともに，北海道小学校長会の一層の御発展と会員の皆様方のますますの御健勝と御活躍を祈念し，お祝いの言葉といたします。

平成 28 年９月９日
北海道教育委員会教育長　柴　田　達　夫

代読
北海道教育庁後志教育局長　武　田　信　吾